

# 2022 年度・芸術工学実習(D)4 後半の進め方 (情報環境デザイン学科)

## ■ テーマ

共通課題：「わたしの芸術工学」

## ■ 参加教員

横山・作間・小鷹

## ■ 実習の概要

この実習は、共通のテーマ設定のもとで、制作を行います。これまでの実習とは異なり、特定の専門領域を定めるものではありませんので、学生個々が挑戦したい領域で制作をすすめることを推奨します。評価は、制作物とプレゼンテーションの双方に対して、同等の重みづけを行います。後者に関しては、とりわけ、異なる分野の人にも制作物の意義が伝わるようなプレゼンテーションについて高い評価を与えます。

## ■ 課題について

「芸術工学」という言葉が意味するものは、時代によっても、それを使う人によっても少しずつ変わります。それでも「芸術工学」という言葉には、「芸術」だけ、あるいは「工学」だけでは叶わないものが、「芸術工学」という切り口によってはじめて可能になる、というような含意があるはずです。本課題では、概要で述べたように、学生の選択した領域で自由に制作を行なってもらいますが、それらがいかなる意味で「芸術工学」であるかを、意識しながら制作をすすめてください。プレゼンでは、通常の実習と同様に、個々に問題設定を行い、適切な手続きで制作物の意義（新規性・有用性など）を説明しますが、自らの制作物がどのような観点で「芸術工学」であるかに必ず触れてください。なお、この共通課題では、本年度で芸術工学部を退任される 2 人の教員が参加します。実習全体として、「芸術工学」とは何かを考える良い機会にしたいと考えています（小鷹記）。

## ■ 貸出のできるもの

HMD (Oculus Quest 2) 5 台、Arduino、プロジェクタ 4 台

## ■ スケジュール

- 第1週：11/24 ガイダンス、映像プレゼンテーション\* (10点) [M101]
- 第2週：12/01 相談1・ショートレクチャー\*\* (小鷹担当) [M101]
- 第3週：12/08 相談2・ショートレクチャー\*\* (作間担当) [M101]
- 第4週：12/15 相談3・ショートレクチャー\*\* (横山担当) [M101]
- 第5週：12/22 中間発表 (全員, 2分) [M101] (30点)
- 第6週：01/12 実作業・相談\*\*\* [オンライン]
- 第7週：01/19 実作業・相談\*\*\* [オンライン]
- 第8週：01/26 講評会 (全員, 3分) (60点) [M101]

## ■ 映像プレゼンテーションについて (1週) \*

- ・ 与えられた課題をもとに、ZOOMで1分間の映像プレゼンテーションを記録し、そのデータを提出してください (提出先は授業HPに用意します)。締切は11月28日(日)までとし、各人の発表はまとめてYoutubeで限定公開します。個々の発表に対して、各教員はYoutube上で何らかのコメントを行います。

## ■ 相談・ショートレクチャーについて (2・3・4週) \*\*

- ・ いずれかの教員による、課題と関連するショートレクチャーを前半に行い、後半は対面で相談を受け付ける時間となります。受講生は、教員に関わらず前半のショートレクチャーに出席する必要があります。後半の相談については、3週のうち最低1回、いずれかの教員に相談を行ってください。

## ■ 実作業・相談について (6・7週) \*\*\*

- ・ 相談は、原則遠隔で行います。授業開始後5分の間に、相談希望の教員のZoomに入室し、時間調整を行ってください。各教員は、この調整で決まった時間スケジュールを、ZOOMのチャット欄に貼り付けておくので、二人以上の教員との相談を希望する学生は、都合の良い時間に対象となる教員のZoomに入室し、教員の相談状況に応じて、チャットなどを通して教員と時間調整を行ってください。年を跨ぎますが、2週のうち最低一回、いずれかの教員に相談を行ってください。
- ・ 実物を見せる必要がある場合は対面による相談を認めます。対面を希望する学生は、ZOOMでの時間調整の段階で、場所の調整も同時に行ってください。
- ・ 各教員のzoomのアドレスは、WEBで公開します。基本的に各教員は、授業時間内にはZoomを開いておき、二人目以降の入室に対応できるようにします。

## ■ 注意事項

- ・ 病欠の場合は、事後に診断書を提出してください。
- ・ 授業に関する質問や診断書の提出は小鷹(kenri@sda.nagoya-cu.ac.jp)まで

## ■ 授業HP

- ・ <https://imd.nagoya/d4b/>